

# 近畿の年頭行事——『神社を中心とする村落生活調査報告』をもとにして——

森 本 安 紀

## 一 はじめに

肥後和男が日本学術振興会から研究費の助成を受け、昭和十一年に調査した『神社を中心とする村落生活調査報告』（以下『神社資料』と省略する）は、後の宮座研究調査に影響を与えている。

肥後は、滋賀県の調査をもとに『近江に於ける宮座の研究』（『東京文理科大学紀要』第一六巻、一九二八年）をまとめ、その後の『宮座の研究』（一九四一年、弘文堂、一九七〇年再刊）では、奈良・京都・大阪・滋賀・和歌山・三重の各府県下の宮座の調査報告と研究を行った。

『近江における宮座の研究』に報告された滋賀県下の事例数の多さに対し、『宮座の研究』では、宮座の分布表として、宮座を有する地名や神社名を挙げられているが、本文に記された報告数は少ない。

『神社資料』の回答は、複数作成されていた。しかし、資料の散逸があり、今までは、明治大学図書館蔵の滋賀県・京都府・大阪府・奈良県と、奈良県立図書館に奈良県分が宮座資料として残されていたものが確認されていた。さらに、大阪府と兵庫県の資料が、大阪市史編纂室に保管されていた津田秀夫文庫の中から発見された。京都府と兵庫県、滋賀県でも、県の文書として所蔵されていたはずだが、その所在は不明とな

っている。

この資料が、後の宮座研究にどのような影響を与えていたのだろうか。今回『神社資料』の中の年頭行事に関する回答を抽出して、一覧表を作成した。本論文ではこれをもとに、近畿で行われていた年頭行事を考察したい。

年頭行事は、一月や二月に一年の始まりの重要な儀礼として行われている。その内容は、村境に勧請縄掛けを行う。魔除けや占いとしての弓射が行われる。集落で新年の座を開き、直会を行う。豊穰を祈るイネの花をあらわす花飾りを作ったり、大きな鏡餅を作って、神仏に供えた後に集落内の各家に配るなど、多岐にわたっている。仏教行事である修正会・修二会の影響も大きく、乱声や火祭り、鬼走りなどが集落内のお堂や寺院で行われる。また、この時期に山の神祭を行う集落も多い。山の神祭では、山に入らず休養する日であるとして、山の道具を浄める場合と、山に鉞や鋤といった作り物や焼餅などを供えたりする場合がある。

これらの年頭行事が行われる期間は、長いものでは七日間に及んでいたが、過疎化によって、宮座の構成者が少なくなり、祝日の変化などライフスタイルの影響もあり、儀礼の簡略化や廃止へとつながっている。その結果、現在も年頭行事を行っている集落の大部分では、一日、ない

しは二日間の儀礼へと変化している。

滋賀県では、肥後の調査報告の充実もあり、オコナイが注目され、研究報告も多くある。大阪府では、資料そのものの所在が不明だったため、この資料が民俗調査や研究に反映されることはなかった。今回、あらためて資料の年頭行事の項目を検討しても、滋賀県以外では、『神社資料』が市町村史へ与えた影響は、ほとんどなかったことがわかった。

## 二 『神社資料』と事例の比較

この『神社資料』の回答からうかがえる年頭行事の姿とはどのようなものか。これをもとに近畿の年頭行事を考え、現在も行われている事例とあわせて検討していきたい。

『神社資料』のなかから年頭行事の記載を抽出した一覧表が、末尾にあげた『神社資料』の年頭行事一覧表である。それに『宮座の研究』の宮座一覧の記載の有無も加えて、両書を対照できるようにした(表の肥の項目)。

なお、抽出作業の際に、官国幣社以下神社祭祀令(大正三年勅令十号)に定められている祈年祭・歳旦祭・元始祭・紀元節祭に関する回答は除いている。しかし、滋賀県のオコナイは祈年祭と同日に実施していることがあり、祈年祭と表記があっても、オコナイが行われている場合は、表に含めた。また、表に挙げた宮座の項目は、『神社資料』の回答で宮座の有無に対する質問があると答えている場合とし、神社に関わる集落の組織を宮座、実際に祭祀を執行する当番を決める制度が頭屋制と判断して



いる。

滋賀県伊香郡塩津村集福寺の下塩津神社で行われている神事(表102・写真①②)は、頭屋制であるが、集落全体が祭祀組織の構成員であり、肥後のいう村座の形態である。ここでは、「神事」二月一日午前十時」と、「神事(行)」大鏡餅を始め古式の行列あり」と、祭祀項目の回答に記入されているが、宮座の項目では無回答である。しかし『宮座の研究』の分布にはあげられており、肥後は村座と判断したと思われる。このような点が、宮座の定義を困難にしている要因のひとつといえる。

滋賀県で宮座に関する回答があるのは、三二件。うち一六件はオコナイと同じとされている。オコナイのみの回答は一〇四件。弓射が一六件、山の神祭が九件、綱掛けが二三件である。この滋賀県の調査で山の神祭に関する回答が多数返ってきたため、その後の府県の調査項目に山の神祭に関する①ことが追加されている。

大津市神出の長等神社(表1・写真③④)では、「正月十四日の綱打神事」延長二年正月、里人、藁にて蛇形を作る。祭神建速須佐之男大神の古事によりてなり。藁百五十束」とある。この行事は現在も行われており、一月一四日に藁で大蛇をつくり、頭部は拝殿に飾り、胴体部分は神社の楼門外までのばす。かつてはこの胴体部分は氏子区域の境界である電車道にまで伸ばしていた。一日にどんと焼きが行われるが、このとき尾の方から藁を踏みながら、神社に入ること、災厄を防ぐとされている。

滋賀県栗太郡物部村は現在守山市へと住所が変わっている。同市勝部の勝部神社(表14・写真⑤⑥)では一月第二土曜日(以前は一月六日)に火祭が行われている。この祭りは、軸の長さが五〜六メートルで頭部分直径四メートルになる、大きな松明一二基が境内に並べられ燃やされる勇壮な儀礼である。回答には、「一月八日例祭(松明裸祭)」、「一月に松明が大蛇の形に作られます(藁で無く柴枝です)。右の松明を焚きま

す」とあり、一月六日とされている日時よりも、もとは一月八日に行われていたことがわかる。

同じく守山市浮気町の住吉神社(表15・写真⑦⑧)でも、一月第二土曜日(以前は一月六日)に、軸が五メートル程で、頭部分が二メートルになる松明六基を燃やす火祭りが行われている。こちらもかつては一二基あったとのことであるが、現在は縮小化されている。

回答では、「一月八日古式祭」、「古式祭は松明の裸踊りです」、「古式祭の松明が蛇の形に作られます(但し藁で無く柴枝です)。右の松明を焚きます」とあり、こちらでも、もとの日時は一月八日であったことがうかがえる。さらに古式祭としている点は、回答には記入されていないが、現在も、住吉神社の火祭の午前中に行われている弓射式を指しているのだろう。

滋賀県の特徴としては、年頭行事として、神社祭礼式で定められた神事があり、これがオコナイとも称されている。先にあげた集福寺でも、



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



「神事」オコナイ」とあり、守山市の火祭もオコナイと称されている。

もうひとつ、滋賀県のオコナイの事例を紹介する。東浅井群大野村川道の川道神社（表146・写真⑨⑩）では、現在二月の最後の土曜日の夜に大きな鏡餅を供え、翌日の日曜日に神事と直会が行われる。この回答には、「神事（三月一日）」、「神事順序、二月二十七日煤掃、以後神宿準備。二月二三日米洗。二四日米搗、二六日米浙、取粉碾。二七日鏡餅搗。三月一日献供、夕刻撤饌。二日鏡餅開」とあり、準備に長い期間をかけていたことがわかる。

オコナイは、ジンジャやシューシ、オトウといったような名称で行われている場合もある。これらを含めてすべてをオコナイとするのかという問題がある。火祭や鏡餅の献供など、オコナイの儀礼内容は多様である。儀礼の名称も統一されていないために、年頭行事の中の何をオコナイと分類するのかという問題へとつながる。『神社資料』には、「神事」オコ

ナイ」や「祈年祭」オコナイ」といった記述があるため、この問題へのひとつの解決を示せるだろう。つまり、年頭行事として神事であるオコナイを行っていたものが、祈年祭と同日に行われるようになり、儀礼が混在して、現在の多様な姿となったと推定できる。

奈良県では、宮座が一四件、弓射が二件、綱掛けが一四件、山の神祭が二九件である。ここでの特徴は、質問項目に山の神祭が加えられたことである。これにより、山の神の有無の回答数が増えており、事例の多さにつながっている。綱掛けや御田の回答も多いのも奈良県の特徴といえるだろう。

また、磯城郡上之郷村小夫の天神社（表211）の回答に、「祈年祭（御田祭）二月十七日、縄掛祭二月八日」、「毎年縄掛の神事を行う。神縄掛の垂、二月八日は櫛、十二月八日は松の枝を用ふ。神縄の丈七クグリ半」とある。祈年祭として御田も行われている。これは滋賀県のオコナイと同じで、もともと別の儀礼として行っていたものが、同日に行われるように変化したのであろう。

さらに、山辺郡二階堂村荒蒔（表174）では、座の開催の有無の記載しかないため、この資料からは宮座の存在しかわからない。しかし、ここでは実際には鬼的に弓射を行う儀礼が行われている。『神社資料』のアンケートの回答者によつては十分な回答を得られていない場合がある。

京都府は、宮座が八件、弓射が四件、綱掛けが四件、山の神祭が三件である。京都府の『神社資料』には、山城郡が欠損している。山城郡木津町相楽の相楽神社の年頭行事では、二月一日に餅花神事が行われている（写真⑪）。九つの宮座から、餅花が供えられる。これは山土の粘

⑪



を丸めて藁で包んだシヨラマと呼ぶものに、団子を五個ずつ刺した竹串一二本を放射状に突き刺したもので、これを拝殿の軒下につるし、神事が終ると団子は各宮座に配られる儀礼である。それ以外にも、山城郡にはオコナイと称する年頭行事が現在も多く残っているため、資料を参照できないことは残念である。

京都府の回答をみると、山の神祭は二月と九月の年二回行われるという記載が多かった。さらに加佐郡河東村と由良村（表218～220）に山の神祭で草履を作って供える事例が集中しており、この周辺での特徴がうかがえる。

大阪府では、宮座が三三件、オトウが三件、オコナイが一件、綱掛けが九件、弓射が八件、山の神祭が六件である。大阪府の主要な年頭行事としては、宮座の集まり、勧請縄掛け、山の神祭、弓射があり、これらが大阪府下全域に広くみられる。

⑫



大阪市浪速区の八坂神社（表249・写真⑫）では、「壹月十四日綱曳神事があります」と回答され、現在は一月第三日曜に行われている。大きな大蛇の形をした綱を持って氏子区域内を練り歩き、本殿前へこの綱を飾って終了する。

兵庫県では、宮座が一件、オトウが二件、オコナイが一件、弓射が三件、追儺が四件である。宮座や弓射、綱掛けといった儀礼への回答がなく、かわりにオトウや追儺の回答がみられる。養父郡八鹿町石原の名草神社（表306）では「お頭旧正月十五日」とあり、頭屋の交代の時に「旧正月十二日に当番の宅にて宴あり」「その場にて交替を宣す、おとう祭り。とう人旧正月十三日狩衣姿にて参拝、玉串を捧ぐ」としている。このようにトウヤの引継式が年頭行事として行う事例があり、オトウと称している。

『神社資料』は神社へのアンケート結果であるため、神社以外で行われている儀礼の回答はほとんどない。しかし、寺院で行う年頭行事もある。寺院の年頭行事は、修正会と修二会の影響が大きい。年頭行事の中の火祭や裸祭、般若心経の転読などの仏教的要素が含まれる。また、堂や寺

で行われていたものが、寺の廃止などにより、儀礼の場所が神社や公民館へ変化していく場合もある。

年頭行事は魔除けや豊穰を祈る、一年間の生活のなかでも重要な儀礼であるため、一月から二月の長期間にかけて、神社や寺院など、いろいろな場所で繰り返し行われるのである。

滋賀県水口町松尾（表29・写真⑬⑭）の八幡神社の回答には、「おこなひ毎年二月十五日午前中、宮守が御飯、山の幸、豆、干瓢等を浄火にて墓へ供へます。」「一月九日大きな七五三縄を作つて祭ります。一月九日に祭つた七五三縄を燃します。」と記載されている。しかしこの集落では別の日に寺院でもオコナイが行われている。次の表にあげたように松尾では一月から二月にかけて、多くの儀礼が行われている。

松尾では、一月八日と一七日に願隆寺で、二月八日は八幡神社で、オコナイが計三回行われている。儀礼の内容はほとんど同じであり、餅な

⑬



1/2	山の神祭 準備
1/3	山の神
1/8	薬師大師オコナイ、山の神行事 (注連縄)
1/9	直会
1/11	作りぞめ 田に松をさす
1/17	観世音オコナイ
1/20	赤子の餅わり
2/9	八幡神社オコナイ

⑭



どの献供をし、その後座が開かれて、直会が行われるというものである。ただ、観世音オコナイでは、前年に子供が生まれた家の主人が勤め人となって餅を供える。この鏡餅は、赤ん坊が尻もちをついて、お尻をあてることになっている。このため出産数の減少で実施されていない年もある。

山の神祭も一月三日と八日に行われているが、三日は八幡神社の境内の西側に山の神を祀るための大蛇をかたどった綱を、境内の神木に祀る。八日の山の神祭では長さ一〇メートル程の注連縄をつくり、鳥居前に掛ける。この八日の綱掛けはそもそも九日に行われていたものが、オコナイと同日に行われるようになっていく。

このように同じような儀礼を神社と寺院で日にちを変えて行っている場合もある。本来の年頭行事とは、一月から二月にかけて、長い期間をかけて様々な儀礼を繰り返し行っていたのである。

### 三 『神社資料』と市町村史

滋賀県、奈良県、京都府、大阪府の市町村史から年頭行事の事例報告数を抽出したものが次に示す表である。カッコ内の数字は『神社資料』に挙げられている回答と重複のある事例数を記した。<sup>③</sup>

	綱掛け	火祭	弓射	宮座
滋賀県	44(2)	2(2)	16(0)	236(41)
奈良県	22(0)		19(0)	3(0)
京都府	5(0)		2(0)	7(0)
大阪府	2(0)		3(0)	6(2)

この表からみると、市町村史からも年頭行事に綱掛け・弓射・座の開催が行われていることがみられる。滋賀県の重複数が他の県と比べて多いのは、肥後の研究報告の充実がわかる。奈良県・京都府・大阪府では重複がほとんどないため、『神社資料』は市町村史の作成にあたっては、参考にしていなかったようである。『神社資料』は、肥後の晩年に明治大学に寄贈され、公開された資料だが、各府県で保存されていた資料の所在が不明となってしまう点が、その後の宮座の調査や研究への影響が少なかった原因となったといえる。

また年頭行事開催の日時の記載が、『神社資料』と市町村史の間で変化している事例が多い。『神社資料』で昭和一〇年代の儀礼開催日を知ることと、その後どのように儀礼の日時が変化しているかということがわかる。大きな変化としては、土日・祝日への移行と、儀礼期間の短縮があげられる。

市町村史との重複が少ないとはいえ、奈良県の資料は奈良県立図書館に報館にあったこともあり、『神社資料』は、その後の奈良県の宮座研究に

影響を与えている。しかし、『神社資料』の回答の宮座の項目に宮座があるとの記載があっても、『宮座の研究』の宮座一覧からはもれている場合がある。これには、肥後の宮座の定義がどのようなものであったのかという大きな問題へつながる。

今回、宮座と判断するにあたって、宮座とは神社における祭祀組織とした。肥後が挙げているような株座や村座の問題や、頭屋制との違いなどがあるが、これに関しては今後の課題としたい。

実際、『神社資料』の回答でも、宮座の有無の項目に記載がなくても、座の開催日の項目に記載がある場合があり、回答者次第のところもある。このように、座の開催があるため、宮座と判断されるような場合でも、宮座という表記には至っていないこともある。これらが単純に回答者によるものか、それとも当時の宮座の意識の捉え方が影響しているのかは、今後検討が必要となってくる。『宮座の研究』の宮座一覧からみても、『神社資料』に宮座が存在する回答がある場合、それを宮座に含めるかどうかを、肥後がどのように考えたかを知る手がかりとなるだろう。

### 四 むすび

年頭行事は、ライフスタイルの変化や、祝日の変動により短縮や簡略化が行われ、もともとは別の日に行っていた行事が、同じ日に行うようになるなど、その姿を変化させている。祈年祭と同日にオコナイや御田が行われていることが、その例である。

現在残っている行事の姿と、『神社資料』などの資料とをあわせて考察

すると、近畿地方全体にみられている年頭行事が浮かびあがってくる。

本来は、綱掛け・火祭り・弓射・オコナイやオトウ・座の開催という流れで年頭行事は行われていた。それに修正会・修二会の結願法要である鬼走りや裸押しなども加わっていたと思われる。これが、時代の変化の中で、分解されて廃れたり、同日に実施するようになったりして、現在のような、一ないし二日で終わる儀礼になった。

年頭行事の儀礼構成要素が多彩になっている原因も、本来は長い日数をかけてそれぞれ行っていたものが、儀礼の簡略化や廃絶の流れを経て、残った部分が現在の姿なのである。

本稿では年頭行事を中心に考慮したが、『神社資料』は、昭和一〇年代の滋賀県・京都府・奈良県・大阪府・兵庫県の近畿地方全体の神社での祭礼の様子を考えるうえで重要な資料である。回答者により、その記入内容が不十分な場合もあるが、全体をみるという視点では十分な役割を果たすものである。これまで所在が不明になっていた部分もあり、市町村史など、その後の宮座調査や研究への影響は『宮座の研究』の宮座一覧ほどではなく、ほとんど活用されてこなかった。

今後、これらの『神社資料』をもとに、改めて現地調査を深めていくことが必要である。

## 【注】

- ① 黒田一充「肥後和男の宮座調査資料」（なにわ・大阪文化遺産学叢書6 『神社を中心とする村落生活調査報告書（二）大阪府』 関西大学なにわ・

大阪文化遺産学研究センター 二〇〇八年）

- ② 森本安紀「神社を中心とした村落生活と村落調査報告」にみえる大阪府下の年頭行事」（なにわ・大阪文化遺産学叢書13 『神社を中心とする村落生活調査報告書（三）大阪府・兵庫県』二〇一〇年）で大阪府下の年頭行事については考察した。

- ③ 筆者調査。作業にあたって参照した市町村史は次の参考文献にあげた。

## 【参考文献】

- 肥後和男『宮座の研究』一九四一年（弘文堂、一九七〇年再刊）  
 『新修 大津市史 北部地域』大津市役所 一九八四年  
 『草津市史 第一巻』草津市役所 一九八一年  
 『山東町史 別編』一九九〇年  
 『滋賀県史 第六巻』滋賀県史編さん委員会 一九八五年  
 『守山市史 上巻』守山市 一九七四年  
 『八日市市史 第四巻 近現代』一九八七年  
 『栗東の歴史 第四巻 資料編1』栗東町役場 一九九四年  
 『木津町史』木津町史編さん委員会 一九九一年  
 『貝塚市史 第二巻』大阪府貝塚市役所 一九五七年  
 『布施市史 第二巻』布施市史編纂委員会 一九六七年  
 『島本町史 本文編』島本町史編さん委員会 一九七五年  
 『河内長野市史 第九巻』河内長野市役所 一九八三年  
 『寝屋川市史 第八巻』寝屋川市史編纂委員会 一九九一年  
 『茨城市史 第十巻』茨城市史編さん委員会 二〇〇三年



『神社資料』の年頭行事一覧表

網：綱掛け・ジャナワ 火：火祭 弓：弓射 オ：●オコ  
 ナイ・○オトウ 山：山の神祭 座：宮座 肥：『宮座の研究』

所在地	神社名	網	火	弓	オ	山	座	肥	回答
滋賀県									
1 大津市	神出	長等神社	●						1/14綱打神事
2	山中	樹下神社	●						1/15御的神事
3	錦織	宇佐八幡神社	●						1/14蛇を作り/15未明に焼く
4	石山北大路町	御霊神社	●				●	▲	1/9神繩祭
5	石山国分町	近津尾神社	●			●	●	▲	1/9神繩祭。1/14夜神主宅にて日待祭
6 志賀郡	坂本村坂本	御田神社	●						1/15綱引き
7	下坂本村下坂本	酒井神社			●				1/7・8御古慕神事(御講法)
8	下坂本村下坂本	両社神社			●				1/7・8おこほ神事
9 栗太郡	下田上村里	毛知比神社							1/9草木祭
10	治田村和田	五百井神社					●	▲	1/16
11	治田村渋川	伊佐佐神社			●				1/13行(若祭)
12	治田村中沢	菌神社			●			▲	1/10若祭
13	治田村下	額田部神社					●		1/23
14	物部村勝部	勝部神社	●	●				▲	1/8松明裸祭、松明が大蛇の形
15	物部村浮気	住吉神社	●	●				▲	1/8古式祭、松明の裸踊り。松明が蛇の形
16	物部村今宿	大樹神社			●			▲	1/20神事
17	常磐村志那中	惣社神社			●			▲	1/12氏神講祭於弓射行事
18	常磐村北大萱	大萱神社			●			▲	2/9御弓始神事
19	笠縫村下笠	老杉神社			●	●		▲	2/15行祭、1/12弓始式
20	笠縫村下笠	熊野神社							1/15 七歳の童子による神前社参(千歳楽万歳楽を歌い、四方拝)
21	老上村南笠	治田神社				●		▲	1/5古式山之神祭
22	老上村矢橋	鞭崎神社							1/14・15日待神事
23	瀬田町神領	建部大社			●		●	▲	1/16弓座、御弓始めの式、2/1的張の式、2/20射的の式
24 野洲郡	守山町吉身	馬路石邊神社			●		●	▲	1/8神事(産土神)
25	守山町立入	新川神社					●		1/15日待
26	守山町守山	天満宮	●					▲	2/1
27	守山町杉江	小津神社			●				弓矢の神事
28	祇王村富波	生和神社	●	●	●				1/7花造神事(弓の神事・藁蛇)
29 甲賀郡	水口町松尾	八幡神社	●		●			▲	2/15おこなひ、1/9七五三繩祭り、その後燃す
30	佐山村神保	日吉神社			●				1/7明治七年迄引弓の神事ありしも廃止
31	佐山村和野	天満宮			●				弓引き
32	大原村高野	天満宮				●		▲	1/7山の神
33 蒲生郡	岡山村小船木	諏訪神社	●	●					神繩吊り矢を放つ
34	金田村西庄	饒石神社					●		1/7氏子入祭
35	鳥村白王	若宮神社			●				1/8神事祭
36	鳥村長命寺	日吉神社	●	●					1/6藁蛇、マート式
37	鳥村円山	圓山神社			●				1/7神事(弓引き)
38	老蘇村西老蘇	鎌岩宮神社						▲	1/8裸祭
39	老蘇村内野	八幡神社				●		▲	1/5山神の神事、藁蛇様の大注繩
40	武佐村長光寺	八幡十二社				●		▲	1/8八日汁
41	武佐村武佐	武佐神社	●						1/7勸請繩
42	平田村下羽田	劍神社			●				1/5弓行事行い
43	市辺村市辺	三所神社			●			▲	1/10神事
44	市辺村市辺	若宮神社					●	▲	1/7
45	市辺村糠塚	遷之神社			●				1/8特殊神事
46	中野村中野	中野神社			●	●		▲	1/5特殊神事・宮座
47	中野村今崎	日吉神社				●		▲	1/6山の神
48	桜川村川合	玉緒神社	●			●			葉の大きなメ繩
49	桜川村稲垂	諏訪神社	●			●		▲	1/4折り、1/11かんじょ釣り、1/17御膳
50	玉緒村柴原南	玉緒神社	●		●				1/5芝原は祈禱祭を行す、1/11神祥繩

所在地	神社名	網	火	弓	オ	山	座	肥	回答
51	玉緒村土器	天満神社	●					▲	1/7神祥繩
52	市原村甲津畑	藤切神社	●		●				1/2網切り、1/7古式祭典、1/15みそ木を焼却
53	西大路村熊野	熊野神社			●				旧2/18弓引の神事
54	馬瀨村長福寺	日吉神社					●	▲	2/1・10
55	馬瀨村浄土寺	天神社					●	▲	1月の鏡割り、2月の勘定
56	鏡山村岡屋	勝手神社				●		▲	1/3山神の祭
57	鏡山村七里	石部神社			●	●			1/7山の神祭、1/8弓始祭、2/10弓終祭
58	朝日野村鋳物師	竹田神社						▲	1/15卜田祭
59	朝日野村宮井	若宮八幡					●		1/15
60 愛知郡	東小椋村君ヶ畑	大皇器地租	●				●	▲	1/3・9 祭典・直会。綱引き(今は廃止)
61	西小椋村青山	日吉神社	●						1/1御供を供事、1/4勸進繩、1/8・17法印を集め心経、及念仏
62	角井村池之尻	恵比須神社							1/7松祝祭
63	角井村百済寺	白鬚神社		●	●				1/4トビシバ供え、1/7山の神、1/8弓の神事
64	枝見村三ツ谷	三火光神社				●			2/4おこない祭
65	枝見村服部	三火光神社				●			2/4おこない祭
66	枝見村善光寺	三火光神社				●			2/4おこない祭
67 伊香郡	高時村古橋	与志漏神社				●		▲	3/8は神事(鏡餅を供儀)
68	高時村石道	神前神社				●		▲	2/16おこない
69	高時村小山	八幡神社				●	●	▲	2/23・24神事座(おこない)
70	高時村高野	高野神社				●	●	▲	3/4神事(おこない)
71	北富永村桂寺	白山神社				●		▲	2/18神事
72	南富永村柏原	八幡神社				●		▲	2/15神事(おこない)
73	南富永村渡岸寺	天神社				●		▲	2/17より三日間
74	南富永村落川	日吉神社				●		▲	2/9神事(おこない)
75	南富永村森本	森本神社	●		●	●		▲	2/24おこない、2/25薬の大蛇を掛ける
76	南富永村高月	神高槻神社				●	●	▲	2/7御鏡供進、2/8講席(之を座と云ふ)・御塔受け
77	南富永村宇根	春日神社				●	●	▲	2/8神事(おこない・八日座)
78	七郷村磯野	赤見神社				●		▲	2/15神事
79	木之本町黒田	黒田神社				●	●	▲	2/7・2/17おこない座、2/7・2/16神事
80	木之本町千田	石作玉作神社				●	●	▲	神事(おこなひの座) 2/1米かし、2/3餅搗き、奉塔、2/4宮参り、塔渡し及塔受
81	木之本町大沢	大沢神社				●	●	▲	2/17行といふ
82	木之本町木之本	意富布良神社				●		▲	3/11行(御塔の祭)
83	木之本町田野	筆波神社				●			2/9神事
84	伊香具村北布施	若宮八幡社				●		▲	2/10・11・12三日間おこない
85	伊香具村北布施	伊香具阪神社				●	●	▲	2/18
86	伊香具村赤尾	布施立石神社				●			神事
87	伊香具村赤尾	阿加徳神社				●		▲	2/14・15神事(オコナイのこと)
88	伊香具村田居	田居八幡神社				●	●	▲	2月中旬神事
89	伊香具村西山	八幡神社				●			神事
90	伊香具村山梨子	有漏神社				●		▲	神事
91	余呉村坂口	意波閨神社						▲	2/15御塔と称して祭典執行
92	丹生村上丹生	丹生神社		●	●			▲	1/7大鏡献供し赤土捺印、1/18弓始の神事
93	丹生村下丹生	丹生神社			●	●		▲	1/3花頭、1/7緒土祭、1/13大頭、1/4・13座
94	丹生村菅並	六所神社			●			▲	1/11大鏡餅を献ず
95	片岡村文室	北野神社			●			▲	1/8神事祭
96	片岡村池原	樹本神社			●			▲	1/13・23神事
97	片岡村今市	左味神社			●			▲	1/3宮上げ (行)1/3
98	片岡村小谷	八幡神社			●	●		▲	1/5神事(おこなひ)・1/8、2/8座
99	塩津村祝山	香取王神社			●			▲	2/8・9おこなひ
100	塩津村野坂	八幡神社			●			▲	1/9神事祭
101	塩津村塩津中	香取神社			●			▲	2/9神事
102	塩津村集福寺	下塩津神社			●			▲	2/11神事(行)

所在地	神社名	綱	火	弓	オ	山	座	肥	回答
103	塩津村横波	日吉神社			●			▲	2/5神事(行ひ)
104	永原村小山	八幡神社			●		●	▲	1/8神事
105	坂田郡 春照村上平寺	伊吹神社			●				1/6御行
106	伊吹村弥高	平野神社			●			▲	当屋なし、但し祈年祭のときにおこないを行事す
107	伊吹村伊吹	伊夫岐神社			●			▲	1/17～19行祭
108	黒田村志賀谷	志賀神社			●			▲	2/10おこなひ
109	黒田村北方	春日神社			●				2/7おこなひ
110	黒田村菅江	伊弉諾尊神社			●			▲	1/10行
111	黒田村山室	八坂神社			●			▲	2/8おこなひ
112	黒田村大鹿	久志神社			●			▲	1/6おこなひ
113	黒田村堂谷	久志神社			●			▲	2/7おこなひ
114	黒田村長丘	長岡神社			●			▲	2/17おこなひ
115	西黒田村菌原	白山神社			●			▲	1/10行ひ
116	西黒田村鳥羽上	長彦神社			●				1/10おこなひ
117	西黒田村名越	北野神社			●				1/7おこなひ
118	西黒田村八条	足柄神社			●			▲	2/8おこない
119	六庄村永久寺	八坂神社	●		●				1/23初神事、古来相伝の蛇あり
120	神照村南方	神明神社			●			▲	大行事祭
121	長浜村神前	八幡神社			●		●	▲	1/15おこなひ
122	東浅井郡 七尾村相摸庭	春日神社			●			▲	1/13餅花鏡餅を作り、獅子頭を冠り大太鼓を鳴らし佛魔する
123	七尾村今庄	天津神社			●			▲	2/23神行祭
124	伊姫村中野	矢谷神社			●			▲	2/10おこない
125	伊姫村酢村	大羽神社			●			▲	2/11神事
126	速水村馬渡	地主神社			●			▲	2/18祈年祭(おこなひ)
127	速水村猫口	三嶋神社			●			▲	2/16祈年祭(行ひ)
128	速水村小倉	小倉神社			●			▲	2/7行式
129	速水村南速水	熊野神社			●			▲	1/17神事
130	速水村青名	春日神社			●			▲	2/20神事(おこなひ)
131	速水村沢	日吉神社			●			▲	2/8神事祭
132	速水村小今	日吉神社			●		●	▲	2/16神事座組、祈年祭
133	速水村今村	今村神社			●		●	▲	2/15・16神事(2/16おこないの座)
134	朝日村山本	朝日山神社			●			▲	2/14神事(おこなひ)祭。おこなひは祈年祭と一緒にある
135	朝日村五坪	八幡神社			●			▲	2/23
136	朝日村大光寺	春日神社			●			▲	2/8神事(おこなひ)祭
137	朝日村田中	田中神社			●			▲	2/12・13祈年祭(おこなひ)
138	朝日村海老江	小江神社			●			▲	2/7神事(オコナヒ)祭
139	朝日村延勝寺	飯開神社			●			▲	2/12神事(オコナヒ)祭。藁の海老を作り大鏡餅の上に之を献納し後燃す
140	朝日村今西	日岐多理神社			●			▲	2/7祈年(オコナヒ)祭
141	朝日村今西	白鬚神社			●			▲	2/11神事祭
142	朝日村津里	宇賀神社			●			▲	2/18祈年祭(神事祭と同時)
143	朝日村石川	石川神社			●			▲	2/17祈年祭(=神事祭)、戸主座・青年座・老人座・子供座
144	朝日村尾上	小江神社			●			▲	2/17・18神事祭、当屋を定め、3日亘り神事を勤む
145	朝日村東尾上	小江神社			●			▲	2/20神事祭、老人座・戸主座
146	大野村川道	川道神社			●			▲	3/1神事
147	大野村落合	大守神社			●			▲	2/19祈年祭=全日おこない
148	大野村難波	八坂神社			●			▲	2/19祈年祭=神事祭と同事
149	大野村新居	新居神社			●			▲	2/20神事・祈年祭
150	大野村野寺	西宮神社			●			▲	神事・祈年祭
151	大野村八木浜	八木浜神社			●			▲	2/10餅米集、2/11米浙、2/13準備、2/14餅搗、花造花つくり、鏡餅供へ、全2/15撤す

所在地	神社名	網	火	弓	オ	山	座	肥	回答
152	大野村大浜	日吉神社			●			▲	神事、祈年祭
153	大野村南浜	南浜神社			●			▲	神事、祈年祭
154	大野村曾根	八幡神社			●			▲	2/21おこなひ祭及祈年祭
155	大野村錦織	錦織神社			●			▲	2/10おこなひ
奈良県									
156	吉野郡	大塔村篠原							旧1/25祭典
157		大塔村惣谷							旧1/10稲荷祭。旧1/25祭典
158		上北山村白川				●			1/7山の神
159		下北山村池峯				●			旧1/7山の神
160		十津川村玉置川				●			1/7山の神
161		野迫川村弓手原							旧1/1～7神式佛式のお祭り事
162		天川村南日裏	●						▲ 旧1/8縄掛
163		龍門村河原屋				●			▲ 旧1/2山の神
164		中荘村櫻尾					●		▲ 1月
165	山辺郡	波多野村遅瀬				●			▲ 1/7山の神
166		波多野村西波多				●			1/7山の神
167		波多野村菅生				●			▲ 1/7山の神
168		波多野村中之庄				●			▲ 1/7山の神
169		波多野村廣代				●			▲ 1/7山の神
170		波多野村中峰山				●			▲ 1/7山の神
171		福住村福住	●						▲ 1/7、2/25縄掛
172		丹波市三島				●			1/4山の神
173		丹波市豊井							1/7・18結鎮、松苗
174		二階堂村荒蒔	●						12/10・1/10縄掛
175		東里村染田		●		●			旧1/7山の神、旧1/15弓射
176	宇陀郡	三本松村三本松				●			旧1/7山の神
177		三本松村三本松				●			旧1/7山の神
178		三本松村三本松				●			旧1/7山の神
179		三本松村砥取				●			旧1/7山の神
180		三本松村龍口				●			旧1/7山の神
181		榛原町山辺				●			▲ 旧1/7山の神
182		榛原町下井足				●			旧1/7山の神
183		榛原町雨師				●			▲ 1/5・2/5当屋座
184		御杖村桃				●			1月一週間前日 縄掛
185		御杖村土屋				●			1月一週間前日 縄掛
186		御杖村菅野				●			旧1/7山の神
187		大河太村東河田				●			1月
188	添上郡	柳生村北野山				●			▲ 1/7山の神
189		柳生村丹生				●			▲ 1/7山の神
190		大柳生村大平尾							▲ 2/4田植祭
191		大柳生村大平尾							▲ 2/5田植祭
192		大柳生村忍辱山				●			▲ 1/7
193		大柳生村大柳生	●						▲ 1/6田植祭、1/7縄掛
194		大柳生村大柳生	●			●			▲ 1/6縄掛、1/6宮座
195		月瀬村尾山				●			1/7山の神
196		月瀬村石打				●			1/7山の神
197		月瀬村嵩				●			▲ 1/7山の神
198		治道村白土				●			▲ 旧暦1/1
199		治道村番条				●			▲ 旧暦1月
200		治道村養志院				●			▲ 旧暦1月
201		治道村檜枝				●			▲ 2/13
202	磯城郡	初瀬町初瀬	●						▲ 旧1/13縄掛
203		初瀬町出雲				●			▲ 旧1/7山の神

所在地	神社名	綱	火	弓	オ	山	座	肥	回答
204	朝倉村脇木 春日神社	●						▲	旧1/8縄掛
205	上之郷村北白木 高籠神社						●	▲	旧暦1/3神事、旧1/14初田祭行事、旧2/3御田祭行事
206	上之郷村中谷 高籠神社						●	▲	旧1/12御田祭・当屋座行事
207	上之郷村芹井 瀧蔵神社			●			●	▲	1/6宮座衆御供搦行事、1/7例祭・宮上式神事、3/13御田祭・おこない行事
208	上之郷村元井 高籠神社	●						▲	旧1/12御田祭行事、旧2/2御注連縄式・当屋座神事
209	上之郷村修理枝 八王子神社	●					●	▲	1/8御田祭並神縄掛祭
210	上之郷村三谷 菅原神社	●				●	●	▲	2/11山の神、祈田祭・神縄掛祭・山ノ口座、3/7御他祭・当屋座
211	上之郷村小夫 天神社	●						▲	2/17祈年祭(御田祭)、2/8縄掛・垂、檜
212	上之郷村笠 天満神社			●				▲	1/10当屋祭、2/19暮日祭
京都府									
213	何鹿郡 東八田村於興岐 八幡宮					●		▲	1/3山の神、1/6・15
214	奥上林村陸寄 坂尾呂神社					●			1/9山神祭
215	加佐郡 河守上村天田内 二宮神社						●	▲	2月氏神講
216	河守上村毛原 大岩神社					●			2/9山の神祭
217	河守上村北原 熊野神社					●			2/9山の神祭、8才より15才までの男子がいたします
218	河東村常津 国一地神社					●		▲	2月山の神祭、大草履を作りて供へます
219	河東村夏間 五宮神社					●		▲	2月山の神祭、子供が大草履を作りて供へます
220	由良村石浦 住吉神社					●			1月の冬期休暇中、山の神祭。藁のゾウリやワラジが作りそなへられます
221	志楽村松尾 六所神社						●		旧暦1/5
222	志楽村原津寺 熊野神社						●		1/5
223	志楽村田中 鈴鹿神社						●		1/5
224	東大浦村川辺中 八幡神社					●			1/9山の神祭
225	与謝郡 宮津山町宮本 分宮神社								1/2日待祭
226	宮津山町宮村 八幡神社	●							2月、村の入口二ヶ所に藁の蛇を作り木に掛けます
227	宮津山町宮村 八坂神社								1/7氏神講
228	石川村奥地 大宮神社								陰暦2/1村祈祷
229	三河内村 倭文神社								正月には縄賭け各戸毎に行ふ。神社にても行ふ
230	岩屋村 阿知江帖辺神社	●							正月には縄賭け各戸毎に行ふ。神社にても行ふ
231	岩瀧町男山 板列八幡神社					●			2/9山の神祭
232	府中村成相 熊野神社								1月氏神講
233	北桑田郡 大野村檜原 大原神社			●		●			1/3弓引き行事・山神祭
234	大野村向山 瀧神社					●			1/5山神祭
235	山国村鳥居 山国神社			●		●		▲	1/1弓始ノ式明治の初期より1/10に改)・祈年祭・宮座
236	周山村熊田 岩神社	●							1/15大縄掛神事
237	周山村矢代中 日吉神社					●		▲	山ノ口祭(春は1月)・春祭は旧暦1月の亥ノ日
238	南桑田郡 西別院村寺田 大歳神社						●		1/15当渡し
239	河原林村河原尻 日吉神社							▲	1/15小豆粥を奉供、占をなす
240	亀岡町余部 走田神社						●	▲	2月
241	京都市 東山区山科大宅 岩屋神社					●			1/15山の神前にて餅を焼く
242	東山区山科大塚町 天神社			●					3/7御弓神事
243	上京区手野宮北町 八幡神社			●					1/16弓ノ神事
大阪府									
244	大阪市 此花区玉川町 恵美須神社								1/10宝之市神事(十日戎)
245	此花区上福島南 天満宮中之社								2/10甘酒を献し、2/25梅花の献饌
246	此花区下福島南 天神社						●	▲	1/10野捨子会(明治二十年頃より中絶)
247	東区半入町 稲荷神社			●					1/8弓の神事
248	天王寺区大道 河堀稲生神社		●					▲	1/14通称ドヤドヤ
249	浪速区元町 八坂神社	●							1/14綱曳神事
250	西淀川区野里町 住吉神社						●	▲	2/16当渡し、2/20例祭(一夜官女神事)
251	西淀川区加島町 香具波志社				○		●	▲	2/17御当恵祭

所在地	神社名	網	火	弓	オ	山	座	肥	回答
252	東淀川区豊里町 大宮神社		●			●			1/15大とんど、1/16神とんどと(今は1/15のみ)
253	東淀川区上新庄町 春日神社							▲	1/11千度講(現在は2/11)
254	東淀川区豊里菅原町 天満宮					●		▲	2/25
255	東成区深江町 稲荷神社			●				▲	1/9神弓祭
256	住吉区平野宮町 杭全神社								1/13翁の舞・田植神事
257	三島郡 安威村安威 阿為神社					●			1/3当渡し、1/6・10・2/25御餅撒き神事
258	吹田町吹田 高濱神社							▲	1/6裸体祭
259	高槻町成合 春日神社					●	●	▲	1/15山の神、1/7おこなひ
260	島本村尺代 諏訪神社	●		○		●			1/6御頭上祭、薬の大蛇を作り祭る
261	島本村廣瀬 小鳥神社	●		○		●		▲	1/8御頭祭があります。祭の日薬の蛇作る
262	豊能郡 池田町吉田 細川神社					●			1/4山の神
263	南豊島村利倉 春日神社								旧1月中 豊田祭
264	西能勢村山辺 山辺神社					●			1月初寅日 山の神
265	北河内郡 三郷村高瀬 大枝神社					●		▲	1/2
266	中河内郡 枚岡村出雲井 枚岡神社	●							1/8注連縄掛神事
267	加美村正覚寺 旭神社					●		▲	1/11桶祭・2/16北座の饗応祭
268	加美村鞍作 菅原神社					●		▲	2/25勘定、神社合併迄は南北南座あり
269	大正村太田 免田神社					●		▲	1/12宮座
270	西郡村 天神社							▲	1/25天神講
271	楠根町西堤 西堤神社			●		●			明治御代迄例年1/13御弓神事、旧正月には座祭
272	楠根町長田 長田神社	●		●					御弓の神事(今は廃止)、1/7縄掛替神事
273	南河内郡 千早村千早 千早神社	●		●				▲	1/7(陰暦)おちば式の御祭り
274	喜志村 美具久留御魂神社							▲	2/17雪散神事
275	天野村小山田 住吉神社					●		▲	1/2御弓祭
276	天見村下天見 八幡神社	●		●					1/5・14ごん祭、1/6勧請御祭
277	狭山村今熊 三都神社								12/13薬の飾り、1/1~15まで飾る。正月殿
278	磯長村春日 春日神社	●							1/14綱引・左義長
279	道明寺村澤田 八幡神社							▲	2月の初のウノ日(今日は此神事なし)、ウ祭
280	岸和田市 岸城町 岸城神社					●		▲	旧1/7
281	泉北郡 百舌村赤畑 百舌鳥神社					●			1/1~3「おんごく」と称し畑からちぎりたる餅を 献供・百舌鳥精進
282	横山村佛並 男乃字刀神社							▲	祈年祭に葦を以て男茎を作り櫛に結び付け神前 に供す
283	横山村下之宮 八阪神社					●		▲	旧正月 座儀(苗代田に櫛を祭る。之を櫛座と云ふ)
284	久世村和田 多治速比売神社				●	●		▲	1/6行の神事、2月宮座
285	美木多村上 美多彌神社					●		▲	節分の翌日(グワンダノ朔日)
286	南松尾村春木 春日神社	●						▲	旧1/6七五三縄奉納
287	山瀧村内畑 山直神社					●		▲	旧1月元旦祭
288	忠岡村道之町 忠岡神社					●		▲	旧1/13、旧2/1・11の三回(旧2/11 春日祭)
289	取石村富木 等乃伎神社					●		▲	1/25前後3日間 天神講
290	泉南郡 雄信達村男里 男神社					●		▲	旧1/5・8・11
291	長瀧村蟻通 蟻通神社					●			旧1/1
292	有真香村八田 矢代寸神社					●		▲	1/7
293	上之郷村 意賀美神社					●		▲	1月
294	大土村大木 火走神社					●		▲	1/1明神講(宮座)
295	大土村土丸 春日神社					●		▲	旧2/16
296	佐野町 春日神社				●			▲	旧1/11結陳祭
297	田尻村吉見 春日神社					●		▲	1/13当屋交代儀式、御千度講祭、同時に烏帽子 加入の儀式あり
298	土生郷村土生 土生神社					●			2/25
299	山直町稲葉 菅原神社					●		▲	旧1/10山の神、旧1/7座祭
300	山直町岡山 菅原神社					●		▲	旧1月
301	山直町包近 楠本神社					●		▲	旧1/7
302	八木村中井 夜疑神社					●		▲	陰暦2/13拝殿に於て一老委譲の儀式

所在地	神社名	綱	火	弓	オ	山	座	肥	回答
兵庫県									
302 多可郡	松井庄村熊野部 稻荷神社			●	○				旧1月2日本当、旧1月16日追儺式(二番当)
303	中町天田 加都良神社	●							旧正月14日七五三焼
304	中町鍛冶屋 大歳金毘羅神社			●					1/1雀のもん
305 養父郡	西谷村若杉 三社神社			●					弓引き
306	八鹿町石原 名草神社				○				おとこの祭旧1月12日、お頭渡し旧1月15日
307	宿南村宿南 寄宮神社						●		産土神講陰暦1月17日
308 美濃郡	久留美村宿原 八幡神社			●					旧1/4御弓
309 加西郡	在田村廣原 大歳神社				○				1/16当渡し
310	在田村佐谷 八幡神社				○				旧暦1/5、椎葉を捧げ、稲苗代田に挿す
311	在田村鴨谷 大年神社				○			▲	毎年1/9於頭披受の式
312 神戸市	林田区长田町 長田神社				○				2/21長田祈禱祭、2月節分追儺式
313	須磨区妙法寺町 八幡神社				○				1/7正月祭
314 有馬郡	三輪町志手原 八王子神社								旧暦1/7祈年祭
315	八多村深谷 八王子神社				○			▲	1/2株當祭、1/10十五社當祭
316	高平村下槻瀬 天神神社				○				1/13御當祭、祈年2/18
317	高平村下波豆川 八坂神社				○			▲	1/7御當祭
318	高平村酒井 高売布神社				○				1/9御當祭 午後7時、2/21祈年祭
319	有野村下唐櫃 山王神社								1/3追儺式
320	有野村有野 若宮神社				○				1/16御頭神事、家の格式順に座を設けて執行
321	有野村有野 田尾神社				○				1/7御頭祭、1/8トウ渡し

注：回答を表にあげるにあたって一部省略している。

【引用資料】

- 大阪府・兵庫県 大阪市史編纂所 津田秀夫文庫所蔵 『神社を中心とする村落生活調査報告』  
 大阪なにわ文化遺産叢書 『神社を中心とする村落生活調査報告書(一)～(三)』  
 関西大学なにわ・大阪遺産学研究センター 二〇〇七・二〇〇八・二〇一〇年
- 京都府・滋賀県 明治大学図書館所蔵 『神社を中心とする村落生活調査報告』
- 奈良県 奈良県立図書館所蔵 奈良県庁文書 『昭和十一年祭祀並宮座調』

